

高校生エコものづくりコンテスト 2010（工学院大学主催）で

本校科学部生徒「企業発明奨励賞」受賞



本校科学部 1 年生の大塚崇夫君と河合慈君が工学院大学主催の「高校生エコものづくりコンテスト 2010」（写真左ポスター）に応募し、「企業発明奨励賞」を受賞しました。

このコンテストは、高校生が機械的な動きのある製品の製作を通して、ものづくりへの興味を広げるといったコンセプトにもとづいて実施されたものです。市販の「スターリングエンジン」または「電磁石エンジン」のいずれかのエコ駆動キットを用いたアイデア作品を募ったものでした。

本校では科学部 1 年生の大塚君と河合君がこのコンテストに参加しました。二人が、応募した作品「太陽がすくう」は、太陽温水器の原理で熱湯をつくり、その熱でエンジンを動かして水を汲み上げるという器具でした。審査の結果、発想のユニークさが評価されて「企業発明奨励賞」

を受賞しました。科学部顧問の樫田先生からも推薦が有りましたので、本ホームページで二人の紹介を行いました。写真（下）は出品した作品と表彰状と受賞した二人を写したものです。二人の作品とその内容についての説明とは、本日実施中の記念祭でも科学部の催し物の中に展示してあります。

